

令和元年度の課題と令和2年度の展開について

資料5

課題

- ◎JIAM (2泊3日 36名受講)
- ◎JAMP (2泊3日 73名受講)

◆カリキュラム比率

- 講義4割、対話4割、報告2割
- ・受講者数が定員を下回っている
- ・能動的な活動(講師や受講者との対話、演習)が少ない
- ・地域活動を行う上で、多くの修了生が知識や経験の不足といった悩みを抱えている

- ◎自治大学校
(7日間(内人財塾4日間) 21名受講)

◆カリキュラム比率

- 講義4割、対話1割、演習5割
- ・受講生数が定員を大きく下回っている
- ・自治大学校から継続した実施について難色を示された
- ・研修期間が長く、職場の理解がないと参加しにくい

- ◎地方開催
(1泊2日47名受講)

◆カリキュラム比率

- 講義7割、対話3割
- ・受講生数が定員を大きく下回っている
- ・研修時間が少なく、受講生同士や講師との対話・交流に限りがある
- ・修了生の事例発表の場がない

- ◎フォローアップ研修
(自主開催)

- ・令和元年度は、北海道、東日本、北陸、東海、西日本で開催しているが、一部に継続した開催が難しい地域や未実施の地域がある

方向性

- ◎JIAM、JAMP

☆改善内容

- ①募集開始の前倒し
 - ②「グループトーク」から「グループワーク」への変更
 - ③地域で活動している修了生の事例発表を1コマ増加
- <開催日>
JIAM : 5月13日～15日
JAMP : 9月23日～25日

- ◎自治大学校

自治大学校主催の研修としては廃止

☆改善内容

- 修了生間のネットワーク構築や修了生に発表の場を設けることに重点を置いた「地域づくり人財塾特別研修」を開催
- <開催日>
7月10日～13日

- ◎地方開催

単独開催については休止し、令和3年度以降の実施方法を検討する

- ◎フォローアップ研修

☆改善内容

フォローアップ研修の更なる周知